

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施 策	①安全・安心な生活の確保と警察活動の強化
			施策の小項目名	○治安について著しく不安を与える犯罪等への対応強化
主な取組	サイバー犯罪対策事業		対応する成果指標	特殊詐欺認知件数
施策の方向	・犯罪発生数は一定数減少しているものの、県民の安心感を更に向上させるために、治安について著しく不安を与える犯罪、社会情勢の変化に伴って多様化する特殊詐欺、サイバー空間の脅威、薬物犯罪、国際テロ等の犯罪への対応強化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
サイバー空間の脅威に的確に対応するため、被害防止対策の促進、解析用資機材の整備、サイバー人材の育成等を図る。	県	県民のサイバーセキュリティ意識の向上		
		サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数（累計）		
		600回	600回（1,200回）	600回（1,800回）
担当部課【連絡先】	県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課【 098-862-0110 】		関連URL	—

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	サイバーセキュリティ対策事業			予算事業名	サイバーセキュリティ対策事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	31,497	39,319	県単等	直接実施	195,285	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画			
サイバー事案対処能力の向上を図るため、各種教養・研修の実施、解析資機材の整備、防犯講話等を実施した。				サイバー事案対処能力の向上を図るため、サイバー人材の確保、各種教養・研修の実施、解析資機材の整備、防犯講話等を実施する。			
活動指標名	サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値（A）	目標値（B）	達成割合 A/B		
	—	—	889回	600回	100.0%	順調	サイバー防犯講話を通じて、新たな手口のサイバー犯罪やインターネット上のトラブルを紹介し、防犯意識の醸成を図った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
サイバー犯罪に係る防犯講話の実施回数は、目標値が600回のところ、実績値が889回となっていることから、進捗状況を「順調」と判定した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
○サイバー事案を的確に対処するためには解析用端末の整備が必須であるため、引き続き整備の充実に努める。 ○サイバー犯罪対策課公式Xで、サイバー犯罪の犯行手口等の情報発信を強化するとともに、幅広い年代に対し、サイバー犯罪サイバー攻撃の事例や被害防止対策を周知し、セキュリティ意識の醸成を図る。				・解析用資機材の整備に係る予算の確保 ・サイバー犯罪対策課公式XやLINEVROOMによる注意喚起（サイバー犯罪の新たな手口、被害防止対策等を随時発信）			

3 取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	解析用資機材の整備に係る予算を確保しているものの、リース料が年々増加し、組織的に必要な資機材の整備を行うに当たっての課題がある。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	匿名・流動型犯罪グループによって実行される特殊詐欺や企業・団体の事業活動に大きな影響を与える不正送金事案等の発生が懸念される。

4 取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	解析用資機材は、必要性や使用頻度を踏まえ優先順位を明確化し、計画的に整備するとともに、調達方法の見直し等により経費抑制を図る。
② 連携の強化・改善	サイバー防犯ボランティア、学校、商工会議所等の多様な機関・団体と連携しつつ、広報警察活動等を実施する。